

【（株）東京国際フォーラム】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

有楽町地区を活性化させる核となり、多彩な催事の戦略的な誘致・開催により地域の賑わいを創出し、都の産業振興に寄与する機関

重要課題 ①

国際的な都市間競争が激化する中で、「稼ぐ東京」を見据え、MICEや展示系催事の誘致を一層推進していくために、都、観光財団、まちづくり協議会、DMO東京丸の内等との連携をいかに強化していくか

検討の状況や今後の方向性

- 東京の産業力強化や賑わい創出に寄与するMICEについては、国際通貨基金(IMF)総会が2012年に当館で開催されたことや、高規格な施設・設備や高い交通利便性が誘引となり、国内外主催者からの問い合わせが増加傾向
- これまで実施してきたMICE誘致活動を発展させ、TCVB(東京観光財団)が中心となり設置した東京都MICE連携推進協議会へ参画。誘致すべきMICEについての調査・分析結果を踏まえ、キーパーソン等へのアプローチ強化をするなど長期的な視点に立ったMICE誘致を推進
- DMO東京丸の内の主要メンバーとしてMICE関連情報や地区内イベント情報等の共有とともに、加盟団体である近隣コンベンション施設との意見交換や情報共有を推進
- より一層、MICE誘致活動を発展させ、新たな催事の獲得、大型国際会議の開催増加を目指す。

【（株）東京国際フォーラム】の課題と今後の方向性

重要課題 ②	東京2020大会開催後を見据えた経営基盤の確立と持続的成長に向けた営業戦略の深化とともに、文化・賑わいの拠点としての魅力発信をどのように展開していくか
検討の状況や今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 東京国際フォーラムでは、東京2020大会以後を見据えて、これまで3年周期で策定していた中期経営計画について、5年を計画期間とする第6次中期経営計画を策定○ 施設稼働率向上に向けた取組としては、オリンピック・パラリンピック開催に伴う長期休館によるリピーター顧客の流出を最小限にとどめるとともに、社会動向を踏まえた注目業界、成長産業（環境、ゲーム、IoT、AI、医工連携等）をターゲットとした新規顧客を開拓○ また、東京都施策との連携を深め、施策の効果的な発信に貢献するとともに、都の産業振興や被災地復興支援施策等に資する多彩な関連催事についても積極的に連携・協力○ さらには、LFJ音楽祭等、地域の賑わいづくりに寄与するとともに、魅力ある主催事業を開催するなど、大丸有地区の中心的な存在として地域に貢献